

研修名	自殺未遂者支援者研修 「若年層の自殺未遂者にどうかかわるか」	
講師	福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 医師	
開催日時	令和8年7月31日（金） 【基礎編】13:00～15:00 講義 ～若年層の自殺予防の基礎知識～ 【実践編】15:15～17:15 事例紹介 ～10代の若年者を中心に～	
開催場所	総合保健福祉センター(アシスト21) 2階 講堂	
参加者数	基礎編：35名 実践編：31名 （内訳：学校教諭・保健師・児童福祉司・公認心理師・精神保健福祉士・相談員等）	
研修 内容	・基礎編では、自殺統計や法改正などの現状、TALKの原則や自殺の危険がある方への対応方法及びリスク評価、自殺未遂者の心理状態などを、事例等を用いながら分かりやすく説明して頂いた。 ・実践編では、事例を用いたロールプレイを通して、支援者のかかわり方について学んだ後、座談会形式で質疑応答や、日頃の若年者への対応で困っている事などについて、参加者より自由に発言し、講師より意見を頂いた。  	
参加者の声	・リストカット、薬物乱用などを繰り返す子のリスクを知り、もっと踏み込んだ対応をしなくてはと思いました。自殺、死などのワードを口にするのはタブーと言った雰囲気があり、踏み込めなかったです。「死にたい気持ちについてたずねて、行動にうつることはない」という言葉が大変勉強になりました。 ・自殺企図から自傷までのリスクの考え方や、総合的なアセスメント結果を含めた医療への情報提供の仕方など、参考になるものがたくさんあり、勉強になりました。 ・患者役をしてみて、実際に患者さんの立場になる、ということがどれだけ普段できていないか、わからないのかということを感じました。	